

令和 6 年度 社会福祉法人光と風 事業報告
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

法人理念

社会福祉法人 光と風は障がいのある人たちが、住みなれた地域であたり前に生活できるように、地域活動や社会参加をともに実現します。また、だれもが生涯を安心して暮らせるまちづくりと地域福祉活動の拠点づくりをめざしています。

【総括】

本年の法人活動は、施設の拡充やマンパワー確保等、様々な運営課題を抱えながらも、概ね健全な経営を維持できた。そんな中法人設立 20 周年を迎えたことは、法人の使命として、更なる発展と健全な維持運営を職員一同改めて意識できる機会となった。

事業別では、一分事業では利用者の伸び悩みが見られたものの増加した事業もあり、全体的には、利用者数が安定的に維持できたことにより、経営収支も良好な収支決算となった。

法人運営を支える人材確保については、社会構造の問題の影響により苦慮する状況にあるため、国の助成措置の処遇改善措置を最大限に活用し、処遇改善に努めた。一方で職員の資質向上を図るため職員研修の充実に努め、業務向上等意識を高める等、人材の確保、育成に努めた。

1. 拠点区分：障害福祉サービス事業所ゆうゆう

(1) 法人本部

・職員研修

日 程	テーマ	講 師	参加人数
4 月 1 日	法令遵守	業務執行理事 大西未佳	30 名
6 月 17 日	感染症予防について（食中毒）	獣医師 白石和子氏	25 名
1 月 24 日	就労継続支援 B 型事業職員研修	福）花咲会 井上智子氏	15 名
2 月 26 日	ふらりんこ・風楽里 BCP 研修	管理者 藤原卓也	5 名
2 月 28 日	虐待防止について考える	福）えんわ 高塚政生氏	30 名
3 月 4 日	GH リズムとの情報交換・意見交流	有限会社 加藤商店	15 名
3 月 13 日	就労移行、生活訓練見学研修	ジョブサポートセンターここすた	7 名
3 月 21 日	ゆうゆう B C P 研修	管理者 藤原卓也	13 名

・交流行事、啓発事業

日 程	内 容	場 所	参加人数
9 月 30 日	どんぐり交流会	伊予三島運動公園	139 名
9 月 30 日	e スポーツ大会	伊予三島運動公園	23 名
12 月 3 日 ～16 日	しこちゅ～アート展	四国中央市市民交流棟	

・20周年記念イベント

日 程	内 容	場 所
10月25日	法人設立20周年記念式典	中之庄公民館
11月2日	光と風ありがとうまつり	社会福祉法人 光と風

・子ども食堂への支援

川之江地区子ども食堂「かあか」への支援を実施。

・サービス管理責任者研修

初任者研修 1名

実践研修 2名

（2）就労移行支援事業

職 員 管理者 1名 サービス管理責任者 2名（兼務 1名） 常勤 3名（兼務 2名）

利 用 定 員 6名 年間平均利用者数 4.6名

主な訓練内容 施設外就労、利用者ミーティング、内職作業、洗車作業、職場見学等

施設外就労先 ふじえだファミリークリニック

年間就職者数 0名

売 上 げ 929,864円

工 賃 支 払 額 760,620円

<総括>

①利用者

・8月に1名、1月に1名の新規利用者があった。

②就職者

・職場実習に繋がった利用者が3名ほどいたが雇用に結びつかなかった。

③就労アセスメント

・障害者職業総合センターが作成したアセスメントシートを用いて就労アセスメントを実施。

・当初は職員もシートが変更したため戸惑いもあったが何例かしていくうちに職員間でも共有し慣れてきている。

（3）就労定着支援事業

職 員 常勤 1名 （兼務）

年間支援者数 5名

年間延件数 86件

支 援 内 容 職場訪問・ケース会議出席・面談・金銭管理支援

<総括>

① 利用者

・新たな就職者がおらず変更なし

② 職場訪問及び面談

- ・予定通り行うことができ、定着に繋がった。
- ・不調利用者に面談を定期的の実施したため支援回数が増加した。

(4) 就労継続支援事業 B 型

【主たる事業所】

職 員 管理者 1 名 サービス管理責任者 2 名（兼務 1 名） 常勤 5 名（兼務 1 名）、
非常勤 1 名

利 用 定 員 20 名 年間平均利用者数 19.4 名

作 業 内 容 ・施設外就労（豊岡台病院、三島中央公園、四国中央庁舎、法務局、向山公園、
城山公園、川之江浜公園、パレット、寒川潮騒公園、港記念公園における清掃
業務、木材キューブ加工作業） 500 円／時～900 円／時

- ・おにぎり及び総菜、カレーの製造、販売 600 円／時（出店 800 円／時）
- ・内職作業 80 円／時

売 上 げ 9,741,628 円
(内職：1,370,843 円 施設外就労：4,345,065 円 調理：4,025,720 円)

工賃支払額 5,819,270 円

平均工賃 24,996 円

【従たる事業所】

職 員 管理者 1 名 サービス管理責任者 2 名（兼務） 常勤 3 名（兼務 1 名）
非常勤 1 名

利 用 定 員 10 名 年間平均利用者数 12 名

作 業 内 容 ・カフェ事業 450 円／時 ・カフェ内職 100 円／時

- ・委託内職 100 円／時 ・委託掃除 450 円／時
- ・出 店 400 円／時

売 上 げ 3,358,481 円
(カフェ事業：2,632,550 円 内職：605,931 円 委託清掃：120,000 円)

工賃支払額 1,786,600 円

平均工賃 12,407 円

<総括>

【主たる事業所】

① 内職作業

- ・利用者増加により作業量が増え売上げが微増した。

② おにぎり及びカレーライス製造販売作業

- ・おにぎり及びカレーの販売については、前日が祭日の場合はカレーの休止としたことで売上が 19 万円程減少したが利用者増加により給食数が増加したため向上し、全体では前年と比べて 28 万円程の向上になった。

③ 施設外就労について

- ・市役所立体駐車場が新たに増加したこと、最低賃金向上により委託金の見直しを行い、全体的に委託料が向上し売上が 27 万円程向上し、工賃向上に繋がった。

【従たる事業所】

- 売り上げの中心はカフェ事業になるが、カフェ営業時の作業スペースや利用者の方々の居場所を確保できない現状が続いている。

【全体】

- ①平均月額工賃は令和 5 年度 21,062 円から令和 6 年度 22,310 円に向上した。
- ②利用者平均が 31.4 名で前年度より利用者が増加した。
- ③調理作業において、食材費の高騰が続いており材料の見直しや価格の変更が必要となっている。
- ④従たる事業所で使用していた公用車が経年劣化により廃車となったため、新車（クリッパー）を購入した。

（５）訪問型職場適応援助者助成金事業（ジョブコーチ）

職 員 常勤 1 名 （兼務）

年間支援者数 3 名

年間延件数 8 件

支援内容 就職後 6 カ月間の職場訪問・ケース会議出席・面談

<総括>

就職者がいなかったため支援回数の減少に繋がった。

（６）相談支援事業所 光と風

相談支援専門員 2 名配置（兼務 1 名）

- ① 特定相談支援事業
- ② 一般相談支援事業
- ③ 四国中央市からの基本相談支援委託事業

対応回数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	68	61	61	60	62	44	53	66	47	30	48	67	667
来所相談	6	20	14	14	14	7	8	5	13	3	7	13	124
訪問相談	18	42	14	28	20	19	18	8	17	20	25	21	250

サービス等利用計画等作成件数

契約者 109 名（男：53 名、女：56 名）、新規契約者 12 名、契約終了者 8 名

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計画作成	9	7	12	7	13	8	4	7	8	10	11	11	107
モニタリング	21	17	12	19	18	16	17	15	10	18	14	17	194

認定調査等	1	0	0	0	2	1	0	2	0	1	4	1	12
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

地域定着支援、地域移行支援対応人数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域定着支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域移行支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<総括>

- ① 子どもを担当する相談支援専門員より依頼を受け、母親の支援に携わるケースが多かった。
- ② 通院医療機関、保健所などの行政機関と協力し、受診～入院支援を行った。

2. 拠点区分：地域活動支援センター 風楽里

職 員 施設長 1 名（兼務） 指導員 1 名
 定 員 15 名 （3 月末現在）登録者 50 名
 開所時間 月～金：9：00～17：00
 利用状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人員	36	38	38	36	35	37	35	35	35	31	30	35	421
延べ人員	344	343	328	348	291	334	360	335	325	294	271	346	3,919
開所日数	21	21	20	22	20	19	22	20	20	19	18	20	242
平 均	16.38	16.33	16.40	15.82	14.55	17.58	16.36	16.75	16.25	15.47	15.06	17.30	

<総括>

- ① 受診同行、書類手続きなど、本人の自主性や自立性に配慮しながらサポートした。
- ② 本人、家族の高齢化に伴う必要な支援や子育てを含む家族支援を目指した。一人暮らしの利用者の食事支援や相談支援、訪問支援にも積極的に取り組んだ。
- ③ 室内スペースが狭く利用者が過ごすことが困難な状況もあり理解を求めている。

3. 拠点区分：障害福祉サービス事業所 土居わかたけ

（1）就労継続支援事業 B 型

職 員 管理者 1 名 サービス管理責任者 2 名（兼務 1 名）
 常勤 3 名 非常勤 1 名

利 用 定 員 14 名

平均利用者数 12 名

作 業 内 容 ・施設外就労（関川ふるさと公園トイレ、ディプロにおける清掃業務・個人農家における里芋分製作業）
 350 円／時～800 円／時
 ・焼肉のたれの製造、調理 300 円／時
 ・材料購入 200 円／回、納品 150 円／回

- ・だんだん、キッチンカーによる出店 400 円／時
- ・内職作業 100 円／時（R6.7 月～）
- ・畑 300 円／時

売 上 げ	4,080,905 円
工 賃 支 払 額	2,497,100 円
平均工賃	17,939 円

<総括>

① 内職について

令和 6 年 7 月より時給 10 円アップして 100 円。

② 施設外就労について

- ・愛媛県最低賃金（956 円）引上げに伴い、収入の増加。

③ 調理・だんだん販売・キッチンカーについて

- ・事業計画において多くの利用者が参加できるように調理工程の視覚化・数値化を目指すとしてきたが、現在も模索中である。
- ・キッチンカーの営業・販売先の開拓を行った。
- ・キッチンカーの調理の参加が困難な人も買い物や配達に携わり、多くの利用者さんが関われるように工夫した。
- ・だんだんはメニューを増やした。利用者同士で話し合いを行い、調理・販売できるようになった。チケット係に携わる利用者数が増加した。

④ 畑について

- ・畑の活動に意欲のある利用者減少により、玉葱とニンニク栽培を継続するか否かについて協議が長引いた為、植付の時期を逃してしまった。結果、耕運作業を業務委託した。近所の方からの無償貸与のため、草の管理に努めた。

⑤ 全体として

- ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団より助成金を受け新規施設車両を購入し、利用者を安全に送迎できるようになった。
- ・インスタグラムの発信や YouTube（競輪とオートレースの補助事業の動画撮影）の依頼により障がいへの理解啓発に努めた。
- ・予診票回収業務がなくなったことで収入減少を見込んでいたが、キッチンカーの販売や利用者給食により売上向上に繋がった。

（２）自立訓練（生活訓練）

職 員 管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 常勤 1 名 非常勤 1 名
 利用定員 6 名 年間平均利用者数 3.05 名

<活動内容>

- ・基本的な日常生活能力についてのプログラム
 洗顔・入浴・排泄・料理・洗濯・掃除・ゴミ出し・ゴミ分別 等

- ・自己管理能力についてのプログラム
服薬・食事や健康・生活リズム・金銭管理・休日の過ごし方などを自分で管理する
訓練や支援
- ・社会生活にまつわる能力についてのプログラム
コミュニケーションの向上を図り、自己表現・対人関係について学ぶ。
地域生活のマナーやルールを守るための訓練や支援
交通機関、役所、銀行などを利用する訓練や支援
- ・自己理解についてのプログラム
障がいや疾患について理解する。自分の特性（得意なこと・不得意なこと）を知る。
自分の障がいや疾患、特性について他者にわかりやすく説明する方法を学ぶ。
自己表現について（気持ちの振り返り、気持ち日記の活用）
月に1回、職員との振り返りを実施し、目標の再確認、再設定を行う。

<総括>

- ①活動内容を利用者と一緒に考えながら見える化・リスト化したことで活動意識が高まり、充実した時間を過ごすことが出来るようになった。
- ②ボランティア活動を実施することが少なかった。
- ③就職を見据えて、就職後の生活での困りごとが起こり得ると推測した方について、実生活での訓練が必要と判断したため、今後の生活基盤を整える上で期限を考慮して延長を見送る利用者さんがいた。

4. 拠点区分：共同生活援助事業

職員 管理者 1 名（兼務） サービス管理責任者 2 名

世話人 ・常勤職員 5 名（うち兼務 3 名） ・非常勤世話人 8 名

- | | | | |
|-------------|---------|----|----------------------------|
| (1) グループホーム | メゾンコスモス | I | 定員： 5 名 (3 月 31 日現在 5 名入居) |
| | | II | 5 名 (3 月 31 日現在 5 名入居) |
| (2) グループホーム | ひなぎく | | 定員： 6 名 (3 月 31 日現在 5 名入居) |
| (3) グループホーム | さつき | | 定員： 4 名 (3 月 31 日現在 4 名入居) |

<総括>

- ① グループホーム交流会で、香川県までうどんを食べに出かけた。美味しく食べて楽しく過ごすことが出来た。
- ② 防災訓練は予定通り行うことが出来た。今年度もスタッフ不在の場合の訓練に焦点をあてて取り組んでいる。